



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題「原点回帰 ～All for Service～」

国際会長主題	「輝かそう あなたの光を」	Urlik lauridsen (Denmark)
アジア太平洋地域会長主題	「変革のための光となろう」	利根川 恵子 (川越)
西日本区理事主題	「未来に灯そう 希望の光」	深谷 聡 (名古屋)
中部部長主題	「みんなで参画」	松本 勝 (名古屋東海)
名古屋東海クラブ標語	『限りなき熱情を奉仕に』	

今月の聖句

善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。人の口は、心からあふれ出ることを語るのである。

(ルカによる福音書 6章45節)

強調月間 Community Service

3月例会等ご案内

<p>◎3月第1例会 日程：2024年3月14日(木) 18:45～ 会場：ラ・スースANN 2F 担当：橋爪良和君 開会宣言・点鐘：中江正典会長 ワイズソング 5つの信条：山村喜久君 食前感謝：八木武志君 一會 食一 卓話：『多文化共生にかける思い』 講師：池田咲月専任教員と留学生2名 (名古屋YMCA日本語学院) 諸連絡 閉会宣言・点鐘：中江正典会長</p>	<p>◎3月第2例会 日程：2024年3月21日(木) 19:00～ 会場：名古屋YMCA ◎次期会長・主査研修会 日程：2024年3月9日(土) 会場：大阪コロナホテル ◎リーダー感謝会 日程：2024年3月20日(祝) 17:00～18:30 会場：南山ファミリーYMCA ◎4月第1例会 日程：2024年4月11日(木) 18:45～ 会場：ラ・スースANN ◎4月第2例会 日程：2024年4月18日(木) 19:00～ 会場：名古屋YMCA</p>
--	---

東海ワイズ五つの信条

- 一、自分を愛するように隣人を愛そう
- 二、青少年のためにYMCAにつくそう
- 三、世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四、義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五、会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 2月末一在籍者19名
(内広義会員2名)
出席者 16名 (Make up1名)
出席率 94.1%

【特別ファンド】仮集計
ニコボック 14,730円 (能登半島地震募金へ)
オークション売上 36,000円
現在保有額 1,355,343円

2月第1例会報告

今月はT O F (Time of Fast=断食のとき) で食事なし。例会の食事を抜いて、その分を国際協会へ献金し、世界の飢餓に苦しむ人々へのプロジェクト・奉仕活動、主に途上国で民生向上のために苦闘している活動に用いられます。食事がないので今月はYMCA本館の5階のチャペルでの例会です。

本日のプログラムは恒例の「オークション」ですが、それに先立ち、ゲスト参加された名古屋クラブの川本君・渡辺君を交え『根の上を愛する会』の今後の在り方をめぐり自由に話し合いが持たれました。会員の高齢化に従い、会員数が減少し収入も減少。結果として根の上の施設の維持・管理に必要な資金の枯渇が迫っている。会員を生み出す母体が亡くなっている現状では会員数の増加は見込めない等の現状が紹介されました。話し合いの詳細は省略しますが、愛する会が名古屋YMCAの判断の足かせにならないようにしたいという方向は明確になったのではないのでしょうか。



さて本来のプログラムのオークションは山村君の声掛けで始まりました。メンバーの高齢化や世相を反映し、品物の数もだんだん少なくなってきている中でも、なんとか品物が集まり、売上は久々に3万円を大きく上回り36,000円になりました。売上はクラブのファンドに繰入られます。売上の協力して頂いた、ゲストのお二人にも感謝でした。(松本)



【参加者】浅野、太田、木村、柴田、鈴木、谷口、中江、橋爪、松本、真鍋、八木、山田、山村、山本、鷲尾(ゲスト)川本龍資氏、渡辺真悟氏【名古屋クラブ】

2月第2例会報告

1. 2024-2025 年度中部の体制

中部部長 服部庄三 (グランパス)

中部書記 荒川恭次 (グランパス)

中部会計 松原行謙 (グランパス)

地域奉仕・環境事業主査 数澤輝夫 (金沢)

Yサ・ユース事業主査 戸田真二 (名古屋)

EMC事業主査 中江正典 (東海)

国際・交流事業主査 小泉宗政 (とやま)

金沢クラブ会長 山内ミハル

名古屋クラブ会長 加藤明宏

名古屋東海クラブ会長 山村喜久

グランパスクラブ会長 高田士嗣

とやまクラブ会長 池田通則

2. 西日本区大会名古屋地区実行委員会の件

2月23日(祝)市公会堂にて開催。

6名参加を確認(中江、橋爪、柴田、浅野、山田、山村)

3. 岩間さん2月例会はインフルエンザによる欠席の為、3月例会に出席していただければ、入会条件を満たすことを確認。

4. 3月第1例会の件

担当：橋爪君

講師：名古屋YMCA日本語学院の犬飼氏と

留学生 2 名を予定。

詳細はブリテン担当者に連絡をする。

【参加者】浅野、太田、神谷、木村、柴田、谷口、
中江、橋爪、松本、山田、

【能登半島地震仮設住宅】

太田全哉

2024 年も始まり、早 2 カ月が過ぎようとしています。仕事の関係でハッと気づき反省した出来事を書こうかと思っています。

時間の経過が早く、ここ数カ月仕事で多忙な日々を過ごし、2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震での被害にあわれた方々達へのいたたまれない気持ちも、私自身が風化していることに気づかされた話です。

そんな中、2 月初旬に、石川県輪島での仮設住宅建設の施工依頼が来ました。被災地での工事の話は過去の地震災害、東日本・阪神淡路の仮設住宅建設の同業者や先輩方から聞いたことがある程度でした。

実感・想像がわからないのと、地元愛知県の仕事もあるので迷いましたが、現在の状況・雰囲気をつまないと判断できない為、現地を見に行くこととしました。

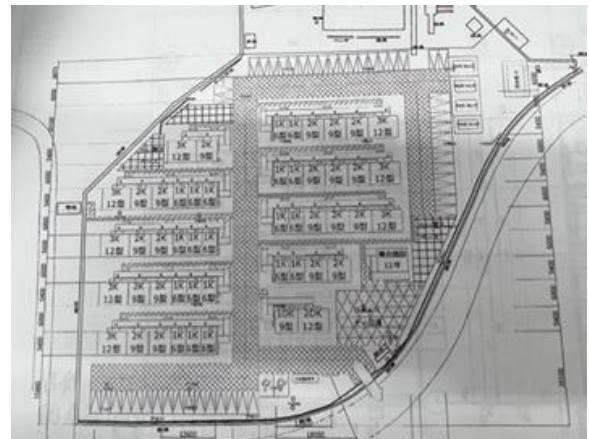


名古屋から高速道路で石川県へ入り、そこからは土砂崩れで通行止めの道路が多く、下道で向かいました。(いつもナビで目的地に向かっていましたが、進入禁止・通行止めが多く、引き返しが多々) 普段便利なナビが役立たず、苦労しました。今回、

建設予定地輪島や門別ではなく 既に進行中仮設住宅建設地、珠洲市の小学校を見学してきました。

報道で伝わるように被害状況がひどいのは皆さん周知と思います。道中、自分が現地で暮らしている事を想像しながら走っていましたが、当事者でないとわからない苦労が一人ひとり違うので、簡単に被害者方々への理解は出来ないと思いました。仮設住宅建設は復興支援の一環でもあるにもかかわらず、仕事だからといって石川県へ車で進入することは渋滞を生む一役になっているだろうな。とか被害状況の見物になっていると思われないな。等…自分勝手な後ろ向きの想像をしながら、浮かない気持ちになってきました。

途中、コンビニを利用しましたが、水道が使えず (トイレも使えない)、流通が滞っているので、商品も少なく、石川県の北に行けば行くほど顕著に現れていました。



現在、水道の復旧も報道ではされていますが、まだまだ断水地区・箇所は多く、おそらく 5 月くらいまでかかるだろうとのことでした。携帯電話の電波も悪く、たびたび 3G 回線に切り替わり、電話も切断ばかり・・・

当たり前の水道・電気・流通が使えないと生活の仕方も工夫が必要となります。もちろん、国・自治体・地域のバックアップが重要ですが、老若男女それぞれの必要なモノが違うので、個人の力ではなく協力・助け合いを願います。

工事参考として、珠洲市の小学校グラウンドに建設進行中の仮設住宅の調査に伺いました。そこは

全戸数 50 戸 (1K/1DK=21 戸・2K/2DK=21 個・3K=8 戸) 建設途中でした。仕事目線で見ると、作業員も疲弊し、雰囲気の良い現場も存在しますが、整理整頓がされており、ゆったりとした良い現場でした。

ただ、なぜゆったりしているかという、建築資材材料が入ってこないからでした。国からの要請でメーカーも生産体制を整え、復興に関わっていますが、石川県に持ち込まないといけない為、まずは流通整備（道路）が必要です。私たちが施工しようとする、材料は愛知県及び岐阜県・福井県・富山県・一部の石川県から運ばないといけません。



工事現場に人員が必要だけでなく、材料手配・納品で人員も必要になってきます。(現地に宿泊すれば工事が進むわけでもありません) そして、宿泊問題もあります。石川県といえば観光名所も多く、比較的被害が少ない金沢ですが、インバウンド復活・コロナ開けの宿泊費高騰（便乗値上げ含む）も足かせとなり現地周辺宿泊所は断水等で営業停止も多く、小松の民宿を借上げすることになりました。(復興の為と、気持ちよくご協力いただき感謝) ※便乗値上の件、嘆いてみえました。

結果、行ける時期には仮設住宅建設の一役を買うこととしました。今後、6000 戸建設予定で、現在、1000 戸に満たない戸数が完工しています。

被害者や苦勞されている方々の心は癒せません。道中、浮かない気持ちでしたが、深くは考えずに仕事とはいえ復興の一役を担えるよう取り組んでいきます。

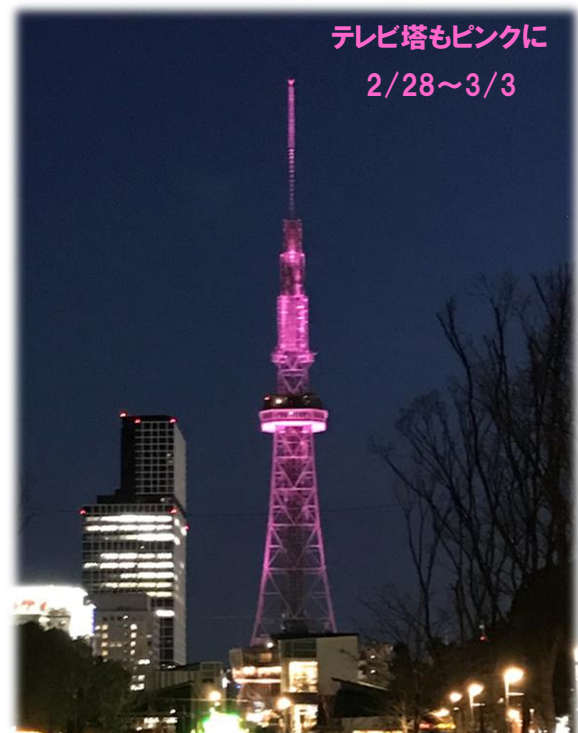
生きている間に名古屋も南海トラフ地震が来ると想定し、準備ではなく、想像をしておかないといけないと身に染みて思いました。

改めて、被災者並びに今なお苦勞し生活されている方々の通常の生活が戻るよう願っています。

ピンクシャツデー

2月の最終水曜日

2007年2月、ピンク色のシャツを着たカナダの男子学生が、「ホモセクシュアル」だといじめられました。それを聞いた先輩が他の生徒に呼びかけ、一緒にピンクシャツを着たところ、いじめは自然になくなりました。この出来事が各国に広まり、2月の最終水曜日が「ピンクシャツデー」とされました。この日はいじめについて考え、行動する日です。



【例会担当】

4月 神谷
5月 真鍋
6月 太田
7月 現会長新会長

【ブリテン寄稿担当】

4月号 神谷
5月号 松本
6月号 橋爪
7月号 谷口